



◀自転車部競技班
での一コマ

関 滑ることで地面ではできない動きができるのと、初心者が多いので、階段を上るようにどんどんできることが増えていくのが魅力だと思います。また、東大の運動会には珍しく女子が多いのもいいところです。

植田 私はマネージャーとして駒場の教授と自転車競技に関する共同研究を行っていて、その内容を選手の練習などにも活かしています。東大自転車部だからこそ、科学的・戦略的に戦えるというのが魅力です。

—勉強やバイトとの両立は可能ですか。

江澤 部活の練習は朝と夜なので、昼間の時間は空きます。だから勉強や趣味、バイトの妨げになることはないし、時間の作り方が上手になりますね。また、先輩から試験情報を得ることができるとは運動会の強みだと思います。

植田 マネージャーなので体力はあまり気にせず、勉強もバイトもしっかりできます。大会と試験が被ると大変ではありますが、勉強ができないというほどではありません。予定がはっきりしているので合わせやすいです。

関 自主練習が多いので自分で勉強時間は確保できます。試験前は、勉強で自主練習に行けないと、『もっと練習したいのに！』となります。

—女子特有のエピソードなどありますか。

関 スケート部スイーツ部門というのがあって、年に数回みんなで甘いものを食べに行きます。

植田 部員になぜか『おかん』と呼ばれています。部員は家族のような。

江澤 女子が少なくても部員は兄弟のようなものだから、寂しくはないかも。

—運動会のよいところは何か。

江澤 学校名を背負うことと、応援部が来てくれるところです。毎日真剣にやって、いざ大会で応援部の方々に応援していただくと、胸をうたれます。

植田 上を目指す気持ちが統一されているところが好きです。また、4年間最後に向けて目標をもって頑張るところもよいところだと思います。

関 後輩に対して責任を持つところもよいなと感じます。先輩が面倒を見てくれて、自分も後輩の面倒を見ることができるのが。

植田 あとOBさんなど、背負うものが大きいというのも。プレッシャーではありますが、応援されながら頑張るところがよいです。

江澤 卒部しても自分たちを気にかけてくれるOBさんたちの気持ちを考えると、負けられない、となりますね。

—これからの目標は何ですか。

関 インカレでよい成績をとることです。インカレに出るためには級が必要で、越えられそうで越えられない壁なので、それを目指して頑張っています。

江澤 ボートはいきなり全国大会なので、女子部は8位入賞が目標です。



漕艇部での一コマ▶

植田 マネージャーとして、選手が自分の競技以外に気を使わないようにすることです。

—最後に、新入生へのメッセージをお願いします。

江澤 中学高校では多くの人が運動部に所属しているのに、大学ではほとんどいないのが不思議です。やってみたらいいと思います。大学特有のスポーツがたくさんあり、また自由な時間が一番多い大学生だからこそできる、最初で最後の機会です。4年間選択肢はたくさんありますが、その一つとしてスポーツに打ち込んでみませんか。

関 スケートは初心者が多く、年齢が上がってから始める人も多いスポーツです。大学生は上達が早いし、また頭を使って理論的に考えて練習することでもっと上手になります。遊んで楽しく過ごすのもよいですが、スポーツも勉強も打ち込んで4年間を駆け抜けてみたらどうでしょう。

植田 私はずっと文化部だったのですが、マネージャーなら頑張れます。運動部の目標を追っているきらきらした感じが好きです。4年間終わりが近づくとつれ、最初は全く想像していなかったほど大きくて貴重なものを得られた気がします。思い切って飛び込んでみませんか。



フィギュア部門
での一コマ▶